

CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西宮北口駅前深津町プロジェクト新築工事	階数	地上9F
建設地	兵庫県西宮市深津町179番、180番	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	156人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	物販店集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年10月 予定	評価の実施日	2023年2月17日
敷地面積	1917.36㎡	作成者	環境システム設計 黒田
建築面積	979.14㎡	確認日	2023年2月20日
延床面積	7146.48㎡	確認者	環境システム設計 馬場



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ゆとりある住空間を確保し、建物全体でZEH-M Orientedを取得するなど設備システムの高効率化も図っている。また、有害物質を含まない材料の使用や、耐用性・節水など、資源・環境にも配慮がなされている。		0
Q1 室内環境 外皮断熱性能は最大でもUA値0.58となるよう設計し、床の遮音性能もLL値45相当とし、室内空間の快適性を確保している。	Q2 サービス性能 共用部分においては、バリアフリーに配慮した計画がなされている。住居部分においては、階高や荷重のゆとりが確保されている。	Q3 室外環境(敷地内) 緑地としての空間の確保は難しいところではありますが、高木は死角とならないように配置し、低木を多用することで防犯に配慮している。また、まちなみや景観に対し調和のとれた外観となっている。
LR1 エネルギー 建物全体のBEI値0.73となっており、ZEH-M Orientedを取得するなど、建物の一次エネルギー消費量を低く抑えている。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器の採用により節水に配慮している。また、接着剤や塗料に有害物質を含まない材料を使用するなど、汚染対策にも配慮をしている。	LR3 敷地外環境 雨水・汚水等の処理にかかる負荷を低減するなど、地域インフラに配慮している。広告照明なども行わず、光害対策も行っている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される